

東北アジア非核地帯化にむけて



講師：高橋博子さん



演題：核抑止論大国からの脱出

名古屋大学大学院法学研究員。アメリカ史専攻。著書「封印されたヒロシマ・ナガサキ：米核実験と民間防衛計画」（凱風社）。共編著「核時代の神話と虚像」（明石出版）。共著「核の戦後史」（創元社）

報告：朝鮮半島非核化をめぐる米朝、南北の動き 金源道さん（韓統連）

とき

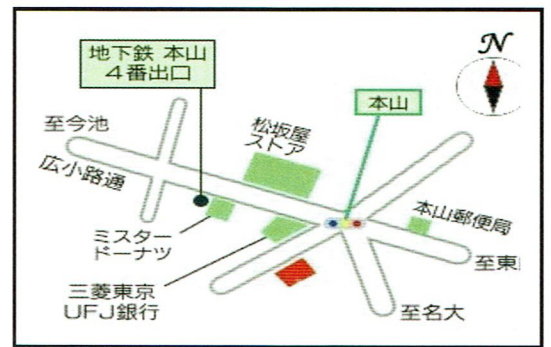
7月6日(土)

午後1時半

ところ

生協生活文化会館

ホール



地下鉄「本山」駅、徒歩1分

2月27日・28日の米朝ハノイ会談の決裂の原因は、アメリカが「北朝鮮の核兵器と核物質を一気に米に引き渡す」と要求したことにある、とされています(ロイター通信)。2019年4月27日の板門店宣言では南北が「完全な非核化という目標を確認」したとしました。これは朝鮮の非核化のみならず、韓国も核の傘から脱することを意味します。朝鮮半島の非核化の問題は、日本も無関係ではありません。アメリカの「核の傘」のもとにある日本はこれにどのように応じるべきでしょうか？朝鮮半島の非核化、更には東北アジアの非核化に向けて、冷戦思考・日米同盟・核抑止論・大東亜共栄圏の発想など戦後の歴史と現在の問題を高橋さんにお話していただきます。ぜひ、ご参加ください。

主催：不戦へのネットワーク

連絡先：名古屋市中村区那古野1の44の17

嶋田ビル2F 電話：050-3593-5130

Eメール：husen@jca.apc.org

協力：特定非営利活動法人名古屋NGOセンター

「核の傘=抑止力」を考え

直そう！



参加費 800円